

表 11 長崎県諫早市小長井地先釜漁場における高水温、低塩分、貧酸素の出現頻度
(上：高水温、中：低塩分、下：貧酸素)

年	項目	5月		6月		7月		8月		9月		10月	
		観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)
平成31年	総観測時間	0	0.0	697	0.0	717	0.4	706	0.6	695	0.0	0	0.0
	高水温(32℃以上の時間)	0	0	0	0	3	0	4	0	0	0	0	0
令和2年	総観測時間	0	0.0	518	0.0	694	0.0	460	3.7	488	0.0	708	0.0
	高水温(32℃以上の時間)	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0
令和3年	総観測時間	141	0.0	709	0.0	710	0.0	680	5.1	476	0.0	383	0.0
	高水温(32℃以上の時間)	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0
令和4年	総観測時間	704	0.0	711	0.0	714	1.7	684	0.4	488	0	738	0.0
	高水温(32℃以上の時間)	0	0	0	0	12	0	3	0	0	0	0	0

年	項目	5月		6月		7月		8月		9月		10月	
		観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)
平成31年	総観測時間	0	0.0	697	0.0	717	0.0	706	5.4	695	0.0	0	0.0
	低塩分(10以下の時間)	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0	0
令和2年	総観測時間	0	0.0	518	0.0	694	24.9	460	1.1	488	0.0	708	0.0
	低塩分(10以下の時間)	0	0	0	0	173	0	5	0	0	0	0	0
令和3年	総観測時間	137	0.0	709	0.0	709	0.0	683	17.1	476	0.0	383	0.0
	低塩分(10以下の時間)	0	0	0	0	0	0	117	0	0	0	0	0
令和4年	総観測時間	704	0.0	711	0.0	714	0.0	684	0.0	488	0.0	741	0.0
	低塩分(10以下の時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年	項目	5月		6月		7月		8月		9月		10月	
		観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)	観測時間(h)	出現頻度(%)
平成31年	総観測時間	0	0.0	697	0.0	717	0.0	706	0.0	695	1.0	0	0.0
	貧酸素(1mg/L以下の時間)	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0
令和2年	総観測時間	0	0.0	518	0.0	692	0.6	460	3.3	307	0.0	708	0.0
	貧酸素(1mg/L以下の時間)	0	0	0	0	4	0	15	0	0	0	0	0
令和3年	総観測時間	138	0.0	709	0.0	711	2.3	663	6.0	476	2.1	383	0.0
	貧酸素(1mg/L以下の時間)	0	0	0	0	16	0	40	0	10	0	0	0
令和4年	総観測時間	8	0.0	712	0.0	715	0.8	685	10.1	488	0.0	292	0.0
	貧酸素(1mg/L以下の時間)	0	0	0	0	6	0	69	0	0	0	0	0

2) 初期稚貝(殻長0.3~1mm)とアサリ(1mm目篩以上)の出現状況

平成31年度から令和4年度までの初期稚貝(殻長0.3~1mm)とアサリ(1mm目篩以上)の出現状況は、図25に示すとおりである。当該地先は、既往文献において浮遊幼生の来遊が確認されており、着底場であることが推定されている。実際、5~8月頃と11~1月頃に初期稚貝が確認されていることから、アサリの着底場となっているといえる。一方、着底後のアサリ個体数は一時的に増加するものの、その後減少する傾向がアサリの出現状況から確認される。このことから、稚貝の確保は容易と考えられるものの、移植用のアサリを確保するには成長段階のアサリが減少しないように保護育成対策が必要となる。

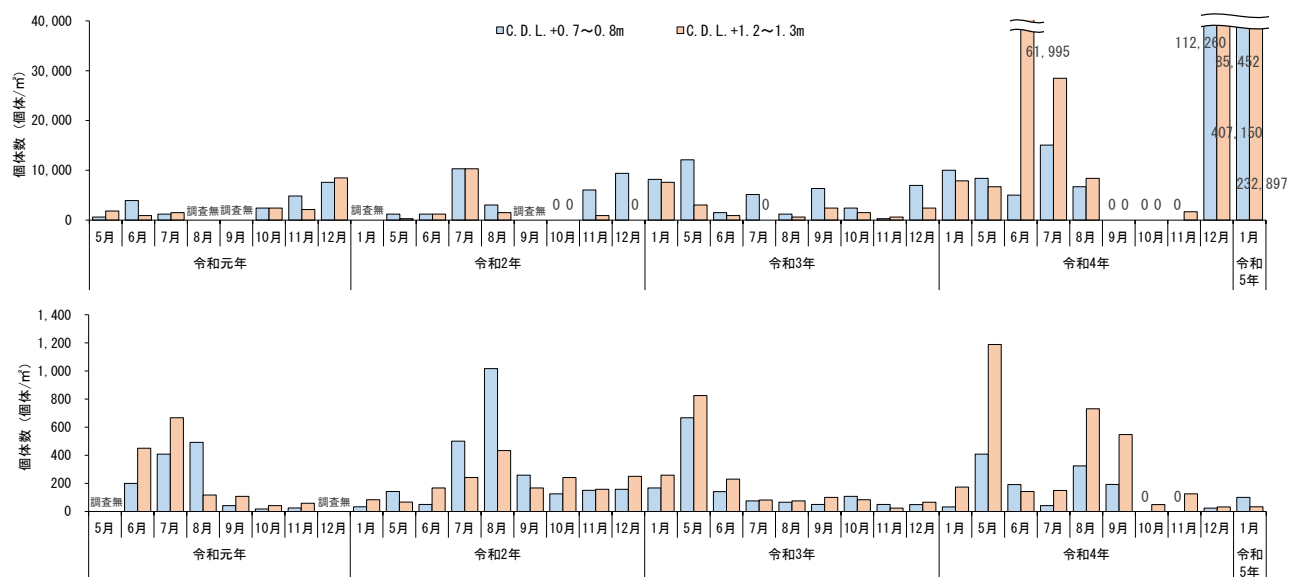


図 25 平成31年度から令和4年度における初期稚貝とアサリの出現状況(上：初期稚貝、下：アサリ)